

予防接種のお知らせ

B型肝炎・BCG

★平成31年4月2日以降生まれのお子さま

母子モ（デジタル予診票）が便利！ぜひ、ご利用をご検討ください。

★紙の予診票を紛失した場合、糸満市ホームページからダウンロード可能。

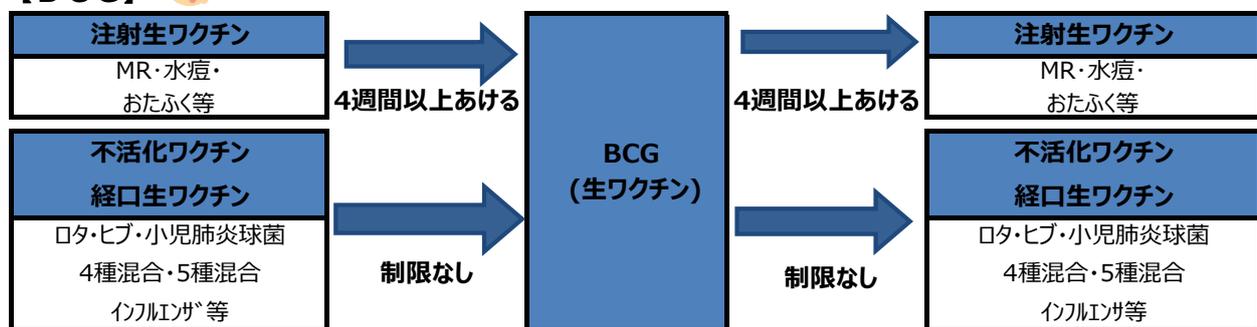
B型肝炎		BCG
標準接種期間	<ul style="list-style-type: none"> ■接種期間 生後2ヶ月から9ヶ月の前日まで ■接種の間隔 【2回目】 1回目から4週間以上あける 【3回目】 1回目から20週間以上あける 	<ul style="list-style-type: none"> ■標準接種期間 生後5ヶ月から8ヶ月の前日まで
公費対象期間	1歳の誕生日前日まで	
回数	3回	1回
接種を受けることができない者 接種前に医師と相談が必要な者	<p>【接種を受けることができない者】 母子感染予防のために健康保険が適用となる者。</p> <p>※その他の「予防接種を受けることができない者」「接種前に医師と相談が必要な者」は、別紙「予防接種について」に記載。</p>	<p>【接種を受けることができない者】 予防接種やケガなどによるケロイドが認められる者。</p> <p>【接種前に医師と相談が必要な者】 過去に結核患者との長期接触がある者、その他の結核感染の疑いのある者。</p>
接種場所	<p>別紙「個別予防接種医療機関(南部地区)」 または本島内の医師会加盟医療機関（直接、医療機関へ問合せ）</p> <p>※<u>県外や県内離島での接種には糸満市からの依頼書が必要</u>です。 詳細は糸満市ホームページをご覧ください、お電話にてお問い合わせ下さい。</p>	
料金	<p>無料</p> <p>対象年齢を過ぎると全額自己負担【B型肝炎:約8,000円×3回 BCG:約12,000円】</p>	
持ち物	<p>親子健康手帳、予診票</p> <p>住所が分かるもの(こども医療費受給資格者証、マイナカード等)</p>	

■ 他の予防接種との間隔(同時接種希望の場合は医師と相談してください。)

【B型肝炎】



【BCG】





B型肝炎

B型肝炎ってどんな病気?



B型肝炎(HB)ウイルスに感染すると、急性肝炎もしくは慢性肝炎になる場合があります。一部劇症肝炎となり、死に至ることもあります。感染は、HBウイルス(HBs抗原)陽性の母親から生まれた新生児、HBウイルス陽性の血液・体液に触れる、性的接触などで生じます。

B型肝炎ワクチンについて教えて



小児のB型肝炎(HB)ワクチンによる予防は、ウイルスの持続感染を防ぎ、将来発生するかもしれない慢性肝炎・肝硬変・肝がんを防ごうとするのが最大の目的です。

■ 副反応について

B型肝炎のワクチンの副反応は、倦怠感・頭痛・局所の腫脹・発赤・疼痛等が10%。
医療機関から副反応の疑い例として報告された症例のうち、重篤症例の発生頻度は0.0008%。

B C G

結核ってどんな病気?



結核は、結核菌の飛沫感染・接触感染および空気感染によって感染します。発病は感染後1年以内のことが多いですが、10年、20年後に発病することもあります。肺結核が結核患者の約80%を占め、他に結核性髄膜炎や粟粒結核などを引き起こします。日本では今でも毎年2万人を超える人が発病し、依然として最大級の感染症です。発病者の約70%は60歳以上の高齢者ですが、小児、若年者の結核もみられます。

B C G ワクチンについておしえて!



結核の予防には、結核菌に自然感染する前にB C G ワクチンを接種することが重要です。適切な接種で免疫をつけると発病を減らすことができ、10年以上効果が持続します。特に、結核性蔓延や粟粒結核など小児の重篤な結核の発病予防に極めて有効です。できるだけ早い時期(標準的には、生後5ヶ月から8ヶ月の前日まで)の接種が勧められます。

■ 副反応について

副反応とはワクチンを接種したあとにおこるかもしれない体の変化のことです。B C G 接種は、わきの下や足の付け根(リンパ節)が腫れることがあります。接種後1~3ヶ月頃に発生し、通常は接種6ヶ月後までに自然に治ります。きわめてまれに、アナフィラキシー、全身播種性(はしゅせい) B C G 感染症、骨髄・骨髄炎・骨膜炎・皮膚結核様病変がおこることがあると言われています。

■ 接種部位の経過とコッホ現象

B C G の接種後には通常の反応として以下の経過をたどります。

- ▶ 接種後10日~4週間頃 : 接種部位に赤いぶつぶつや腫れ、反応が強い場合には化膿した様子もみられる
- ▶ 接種後4~6週間頃 : 上記の症状が最も強く現れる
- ▶ 接種後3ヶ月頃 : 化膿した後のかさぶたがとれ、あとが目立たなくなる

反応の時期や程度には個人差があるため、この通りでなくても心配ありません。上記の通常の反応が、通常よりも早い時期(接種後2~10日以内)に強く現れた場合(コッホ現象)には、既に結核に感染している可能性があるため、検査をする必要があります。接種医にご相談ください。

お問い合わせ先

糸満市役所 健康推進課 予防係

電話 : 098 - 840 - 8126